

集中改革プラン進捗状況報告書の記載内容の見直しについて

1 見直し内容

これまで、集中改革プランでは、各取組における経費削減額などを「収支改善額」（参考①を参照）として記載していましたが、今回の令和7年度進捗状況報告書からは収支改善額を記載しないことといたしました。

あわせて、進捗状況報告書の冒頭部分（2ページ）に掲載していた「取組による効果額」（2ページの参考②を参照）についても記載しないことといたしました。

2 見直しの理由

第5次射水市行財政改革大綱では、「社会変化に柔軟に対応する行財政運営」を基本理念として掲げており、経費削減のみを目的とするものではなく、デジタル技術の活用や業務改革、多様な主体との協働を通じた市民サービスの向上や地域課題解決を目指した改革を推進しています。

これに伴い、進捗状況の評価についても、これまでのような「収支改善額」による単一指標ではなく、「取組によって市民サービスや業務がどのように改善されたのか」といった質的な成果も含め、多面的に行っていることから、上記の見直しを行うものです。

参考① これまでの進捗状況報告書における取組個票での「収支改善額」の掲載例

番号	44	取組名	介護認定審査会資料のペーパーレス化		所属名	介護保険課	進捗状況	完了
あるべき姿 (目指す姿)			介護認定審査会資料がペーパーレス化され効率的な審査会が運営されている。					
現状と課題			介護認定審査会は年間約190回開催しており、開催ごとの資料準備が職員の大きな負担となっている。タブレット端末等の導入費用等の課題はあるが、審査会資料のペーパーレス化（デジタル化）を実現し、職員の負担軽減や資源・経費の節減を図る必要がある。					
課題解決に向けた取組			ペーパーレス化に当たり、費用対効果を検証するとともに、審査会委員への合意形成や操作方法等の説明を行う。令和6年度以降、段階的に試験導入を行い効果を見極めながら、介護認定審査会資料のペーパーレス化を実現する。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率(R6)	
	介護認定審査会年間開催数（ペーパーレス）（年間）		回	0	87	190	-	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
介護認定審査会資料のペーパーレス化			試行・検討(済)	導入準備(済)	導入(済)			
取組状況	令和6年10月からペーパーレスによる認定審査会を実施し、一連の業務をデジタル化し、介護認定審査会事務の効率化を図った。							
今後の取組					狙う効果			
ペーパーレスを導入した効果を活用し、引き続き要介護認定の迅速化に取り組む。					☒ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☒ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☐ サービスの向上 ☐ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員の能力・組織力の向上			
収支改善額 (経費の削減)		409千円						

参考② これまでの進捗状況報告書における取組個票での「取組による効果額」の掲載例

②取組による効果額

年度	収支改善額		計
	(経費の削減)	(独自財源の確保)	
令和5年度	19,433 千円	1,518 千円	20,951 千円
令和6年度	519 千円	136 千円	655 千円
計	19,952 千円	1,654 千円	21,606 千円

- ・令和5年度の収支改善額（経費の削減）は、八幡保育園の閉園、大門コミュニティセンター及び大門農村環境改善センターの廃止に伴う施設維持管理費の削減によるものです。施設の統廃合を行った際には、大きな経費削減効果が見込める場合があります。
- なお、令和6年度においては、施設の統廃合はありませんでした。

年度	土地売払収入	企業版ふるさと納税寄附額
令和5年度	224,609 千円	54,250 千円
令和6年度	81,502 千円	49,020 千円

※収支改善額は、当該年度の取組によって、翌年度の予算に反映した効果額です。経費の削減は歳出予算額の減少分、独自財源の確保は歳入予算額の増加分を記載しています。

土地売払収入、企業版ふるさと納税寄附額は、当該年度の実績額です。

なお、内訳は、8ページ以降の「3 取組内容（個表）」に記載しています。